

〔加茂川筋塵捨場之覚〕 (上部欠損) 九月 25×43 cm 一通 一五

口上書(加茂祭手繩持事) 子二月 吉田相模 出納宛 25×35 cm 一通 一五

口状(吉田内匠御舎兄彦次郎様野式事触) 他宛 正月十日 中沢右近 吉田要人・惣司市之進 26×50 cm 一通 一五

覚(御米買請取) 宛 辰六月十二日 八文字屋平兵衛 御車役人中 24×45 cm 一通 一五

大津御蔵米入札 辰六月七日 八文字屋平兵衛 太郎兵衛宛 25×19 cm 一通 一五

覚(車参勤役人事) 午八月十五日 藤木仙納・吉田相模 出納宛 15×41 cm 一通 一五

覚帳(御免除之事・加茂祭下行之願) 惣司茂兵衛(仮綴) 一冊 一五

御車御入用物覚 丙極月 八文字屋平兵衛 惣司孫之進・惣司茂左衛門宛(折帳 仮綴) 一冊 一六

出車之部(行列次第) (加もより藤木へ参候人云々) 市右衛門他(折帳 仮綴) 一冊 一六

泉湧寺山頭場面図 32×43 cm 一通 一六

口上覚(御葬送御当夜御休所宿坊) 子十二月(十二月六日) 泉湧寺役者(折紙 仮綴) 一冊 一六

〔行列次第〕 (今城中將定成等の名あり 仮綴) 一冊 一六

〔吉田家雑文書〕 九通 一六

(三) 本多家文書

〔本多伊豫守家歴代御朱印頂戴目録〕 貞享元年九月廿一日以下延享三年十月十一日まで 22 通 一六

領知御目録 天明八年三月五日 青山大膳亮幸完・松平右京亮輝和 本多伊豫守宛(仮綴) 一冊 一七

〔本多伊豫守家歴代領知目録〕 月日 本多伊豫守家使者神谷工・同道中條左橋 22×35 cm 一通 一六

〔公事勤番書留〕 寛政四年七月二十一日・十一月十九日 17×58 cm 一通 一六

松平左衛門尉様保科弾正忠様御祭礼奉行御一件帳書拔控(御帰府御届) (文化十五年寅年) 四月十九日 17×79 cm 一通 一七

〔藤原忠貫叙従五位下位記〕 文政五年十一月二十三日(天皇御璽) 三果あり 27×141 cm 一通 一七

柳沢弾正小衛様御祭礼奉行御一件帳書拔控(御帰府御届) 文政十一年九月十九日 16×62 cm 一通 一七

備中守様江年中御仕向被仰置左之通 天保三年辰十二月 17×132 cm 一通 一七

松平備中守様御祭礼奉行御一件帳書(御帰府御届) (天保八年丙年四月) 16×50 cm 一通 一七

安部撰津守様喜川紀伊守様御祭礼奉行御一件帳書拔控(御帰府御届) (天保十二年丑年) 四月十九日御届 17×69 cm 一通 一七

海岸絵図面(本多伊予守領分伊勢国河曲郡南長太村) 天保十四癸卯年九月十七日 土井大炊頭へ被差出 32×46 cm 一通 一七

松平志摩守様小笠原備後守様御祭
礼奉行御一件帳書拔(御帰府御届) 17×60cm 四月十九日

覚(菅勝兵衛・菅準三郎・菅直記履歴書付) 16天保十五年九月
×140cm

〔安政五年七月二十八日公事勤番書留〕 十一月写 16×110cm

〔鞍鎧拜領御礼状〕 万延元年十一月十一日十二日 16×75cm

〔勢州神戸旧藩主本多忠貫より藩士宛消息〕 〔明治二写(自筆か)(仮綴)〕 一冊 一八二

〔神戸藩知事辞令〕 本多河内守 明治二年丑巳六月 35×49cm

詔書 写 明治二年己巳四月 18×40cm

相渡申抱屋敷辰地之事(下) 辛未(明治四年)九月四日 本多忠貫
高輪町内抱屋敷讓渡証文) 内中久木玄藏 下高輪町田中金三郎宛
(図面添付 東京府邸宅御掛宛書類とも) 二通 一八四

日供契照「貞松院殿直 明治五壬申年三月十三日 高野山光明院権大
誉実心妙誠大姉菩提」 僧都法印敏順 本多御姓 36×50cm 一通 一八五

証(金五拾円借用) 明治七年十月十六日 三重県土族正義隠居中
條正資・引請人同県土族中條正秀 本多忠貫
殿御家扶中宛 27×40cm 一通 一八六

〔中條正等侃雇入願〕 明治八年五月五日 從五位本多忠貫 東京
府知事大久保三羽宛(五月十七日付)願之
趣聞届候事」朱書添) 27×39cm 一通 一八七

記(旧藩債に関する回答書) 明治十年九月十四日 神戸県旧藩官
員小谷正厚・島山章・浅田耕転・神谷
直典 本多忠貫宛 28×40cm 一通 一八八

証券(華族明鑑大全一部代金 明治十一年九月 西村組(西村隼太
式円七拾五錢請取引換証) 郎)(野紙) 24×33cm 一通 一八九

〔明治十一年十一月大祖兼
通公祭典入費一族割書〕 十一月三十日 本多正憲(野紙 仮綴) 一冊 一九〇

家令雇入願並許可証写 明治十二年十一月 從五位本多忠貫 副督部
長東久世道禧宛(十一月二十日 許可済印) 24×33cm 一通 一九一

〔本多一族族中積金並上
野東照宮寄附金目録〕 (明治) 十三年六月(折紙) 13×35cm 一通 一九二

大礼服通常礼服フロ(裏面)「明治十九年五月三十日 康稜君より
ツクコト着用心得 到来(活字印刷物) 26×40cm 一通 一九三

〔上卿職事辞令下書〕 上卿大炊御門大納言・職事中御門頭右中弁
(折紙) 20×54cm 一通 一九四

〔地震被害甚大ニ付拝借金嘆願書〕 八月 本多伊豫守(宛所なし) 20×97cm 一通 一九五

〔拝借金当期年賦上納
金拾ヶ年差延願上書〕 十二月十二日 本多伊豫守(宛所なし) 20×119cm 一通 一九六

奉伺書(竹橋御門番ニ付 十一月十六日 本多伊豫守(可為勝手次
出火の節火消人数事) 第候)付箋貼付) 20×28cm 一通 一九七

在所江 熊越候上御役 十月十日 本多伊豫守 (扣和泉守殿) 付
所江引越奉願候書付 箋貼付) 20×28cm 一通 一九八

〔内府様接待御黒書院勤番諸
役名一覽並式次第故実書付〕 四月十九日 本多伊豫守(上使老中
上杉弾正以下) 17×360cm 三通 一九九

〔借金返済方ニ付異議申立書〕 三月八日 本多伊豫守家来岡本喜藤
司 21×55cm 一通 二〇〇

御細工所江 御断(緒袷羽織五拾) 二月廿五日 勢州山田御役所同
心共 17×26cm 一通 二〇一

〔拝借金上納延期嘆願書〕 (巳年) 四月十六日 本多伊豫守(内諸書
付共) 20×44cm 三通 二〇二

勢州從御役所献上 十月十三日 本多伊豫守 (十月十五日 下付
物之儀申上候書付 「覚」とも) 16×26 cm 二通 三三

「帰府御礼献上品伺」 (公方様江右大将様江 御太刀他) 四月十三
日 本多伊豫守 20×43 cm 一通 三〇四

大宮司より啓上候写(小銃方稽古伺) 子三月 大宮司 17×71 cm 一通 三〇五

「勢州山田御役所」江百日 十月九日 本多伊豫守 (追て通達覚) 一通
程之支度ニ而引越伺」 添 20×19 cm 二通 三〇六

御役料取越請取申渡願書付 十月十一日 本多伊豫守 17×26 cm 一通 三〇七

覚(月次五節句事伺) 十月十二日 本多伊豫守 16×25 cm 一通 三〇八

勢州御役所江御暇御内意申上候書付 十月十五日 本多伊豫守
17×20 cm 一通 三〇九

「御役料事願書付」 十月二十六日 本多伊豫守 17×28 cm 一通 三一〇

奉伺書(和田倉門番に
付出火節火消人数事) 六月廿六日 本多内膳 20×32 cm 一通 三一一

三月三日御同席触御返状写 三月三日 大久保準助内松下良左衛門
16×47 cm 小川道十郎他 植村出羽守他四名宛 一通 三一二

「將軍家茂勅答状」 草稿 16×223 cm 一通 三二三

「將軍家茂勅答状」 20×195 cm 一通 三二四

「將軍家茂上奉文」(横浜鎖港事) 20×83 cm 二通 三二五

「九月朔日御黒書院御書院公事書留」 (浅姫様御安産御七夜御祝)
儀他 18×105 cm 一通 三二六

「御 被 露 割」 十二月小 (御本丸・西丸、毎日の勤番割) 18
×164 cm 一通 三二七

「御取持役一覽」 19×53 cm 一通 三二八

「本多同姓一覽上申」 八月二十五日 本多伊豫守 20×83 cm 一通 三二九

「養 子 届」 六月二十三日 本多伊豫守 20×25 cm 一通 三三〇

「新 刊 書 目 録」 (泰西国法論「四卷」西洋事情「三卷以下
総計十五部四十三卷」)「明治初」17×98 cm 一通 三三一

覚(洋酒持合品目) 未七月 いせ座市郎衛門 御役人衆中宛 16
×43 cm 一通 三三二

訟書(二番隊ニ而此度統復求メ度候ニ付) 二月八日認 一通 三三三

妾入籍御届(書式) (野紙) 23×31 cm 一通 三三四

流行わらひのたね (仮綴) 25×17 cm 一通 三三五

「国語ヲ興ス論」 本多忠實(野紙 仮綴) 25×17 cm 一冊 三三六

「族長へ進物代割合書回覧書」 十二月十日 本多忠實(野紙 仮綴) 一冊 三三七

口達之覚(開府以降旧藩
賜邸之遷徒調査依頼書) 明治十二年五月七日 東京府記録掛 華族
本多忠實宛(野紙) 27×20 cm 一通 三三八

〔口達に対する回答書〕 明治十二年五月二十一日 従五位本多忠實
東京府記録掛宛(野紙) 27×20cm 一通 三九

〔宮内大臣通達〕(国事並二時勢 明治二十五年三月十四日 宮内大臣
二関スル文書類等可差出旨) 臣土方久元(宮内省用箋) 27×39cm 一通 三〇

〔宮内大臣通達に対する回答書〕 明治二十五年三月二十九日 子
爵本多忠實 宮内大臣子爵土方
久元宛 25×34cm 一通 三三

〔呼出 触 状〕 閏三月廿一日 本多伊豫守家来宛 20×42cm 一通 三三

〔通 達〕 十一月二十七日 牧野備前守・井上河内守・
板倉周防守・水野和泉守・酒井雅楽頭 本多
伊豫守宛 21×56cm 一通 三三

〔通 達〕 十一月二十七日 牧野備前守・井上河内守・
板倉周防守・水野和泉守・酒井雅楽頭 本多
伊豫守宛 21×56cm 一通 三四

〔呼出 通 達〕 十月晦日 水野和泉守 本多伊豫守宛 20×
56cm 一通 三五

〔本多伊豫守殿あて通達〕 本丸炎上事 十一月十六日・十七日 牧
野備前守・井上河内守・水野和泉守・坂
井雅楽頭 20×56cm 一通 三六

〔通達〕(勅書・請書写送達通知) 五月十一日 井上河内守・板倉周
防守 本多伊豫守宛 18×75cm 一通 三七

〔通達〕(於当地相触候書付 十一月二十四日 牧野備前守・井上河
差越候可被得其意候以上) 内守・板倉周防守・水野和泉守・酒井
雅楽頭 本多伊豫守宛 20×57cm 一通 三八

〔通達〕(遠江守事服 十一月二十四日 牧野備前守・井上河内守・
中付不能連名候以上) 板倉周防守・水野和泉守・酒井雅楽頭 本多
伊豫守宛 20×57cm 一通 三九

〔通達〕(御上洛御発途事) 十一月二十七日 牧野備前守・井上河内
守・板倉周防守・水野和泉守・酒井雅楽
頭 本多伊豫守宛 20×57cm 一通 四〇

〔通達〕(宸翰写并御請書写送達事) 二月(差出人・宛所なし) 16×60cm 一通 四二

〔通達〕(公方様御不 八月二十二日・二十七日(八月十八日河内守
例二付御機嫌伺事) 殿御渡大目付御目付江相達候書付写) 16×
44cm 一通 四三

覚(当月廿日御法事二付参詣服装等通達) 八月 19×86cm 一通 四三

〔通達〕(御軍艦操練稽古并水泳稽古等之儀) 井上信濃守・木村
撰津守より申達ス 一通 四四

〔通 達〕 本多伊予守 一通 四五

〔書 状〕 〔明治十一年〕八月二十七日 慈光寺有仲
本多忠實宛 一通 四六

〔書 状〕 四月十六日 一通 四七

〔書 状〕 十月十一日 大徳院暁 神戸様御内燈御用人
御衆中宛 一通 四八

〔書 状〕 六月八日 松平阿波守(宛所なし) 一通 四九

〔書 状〕 壬四月二十三日 従二位三室戸陳光 美姫宛 一通 五〇

〔書 状〕 極月十一日 松平備中守 伊豫守宛 一通 五一

〔書 状 返 事〕 (異国船まだ帰帆不致云々) 二月二十一日 一通 五二

〔書 状〕 三月二十八日 辰野大兄宛 一通 五三

〔書 状〕 (異国船長州大村海岸江云々) 仲秋二十七日 一通 五四

(四) 宸翰・宣旨等

〔書〕 状 正月二十二日 市川熊男有教 神戸尊侯閣下宛 一通 二五

〔書〕 状 五月二十二日 陳光 忠貫兄宛 一通 二五

〔書〕 状 三月四日夜 弘達 桃谿大兄宛 一通 二五

〔書〕 状 八月八日 久通 忠貫公宛 一通 二五

〔書〕 状 三十日 崇凱 忠恕宛 一通 二五

〔書〕 状 七月十九日 福井道 桃谿公閣下宛 一通 二六

〔書〕 状 四月二十二日 (差出人宛所不明) 一通 二六

〔書〕 状 三月二十五日 利昭 忠貫宛 一通 二六

〔書〕 状 三月十九日 從二位嵯峨実愛・從四位平松時
厚 從四位稻葉正邦・從五大橋近道・從五位
本多忠恕宛 一通 二六

〔書〕 状 八月十五日 石山基正 本多忠貫宛 一通 二六

〔書〕 状 随真院(日付・宛所なし) 一通 二六

〔書状断片・雜文書等〕 含宛所不明書状 一通 二六

〔荒木田武有宜叙正五位上宣旨〕 寬文三年十二月三日 藤原方長
奉(宿紙) 34×53cm 一通 二七

〔賀茂氏演宜叙從五位下宣旨〕 寬文十二年十二月二十二日 藤原淳
房奉(宿紙) 34×53cm 一通 二六

〔賀茂氏演宜叙從五位上宣旨〕 延宝五年後十二月二十六日 藤原宣
基奉(宿紙) 34×53cm 一通 二六

〔荒木田武辰宜叙從五位上宣旨〕 延宝九年五月十一日 藤原宗顯
奉(宿紙) 34×53cm 一通 二七

〔賀茂氏起宜叙從五位下宣旨〕 貞享元年十二月二十三日 藤原宣定
奉(宿紙) 34×53cm 一通 二七

〔賀茂氏起宜叙從五位上宣旨〕 元禄二年十二月十六日 藤原輔長奉
(宿紙) 34×53cm 一通 二七

〔賀茂氏起宜叙正五位下宣旨〕 元禄十一年三月二十九日 藤原輝光
奉(宿紙) 34×53cm 一通 二七

〔賀茂氏起宜叙從四位下宣旨〕 宝永元年四月三日 藤原尚房奉(宿
紙) 34×51cm 一通 二四

〔賀茂氏起宜為氏神社祝宣旨〕 宝永四年六月十五日 藤原尚長奉
(宿紙) 34×53cm 一通 二五

〔賀茂氏起宜為沢田社祝宣旨〕 宝永四年十一月二十日 藤原尚長奉
(宿紙) 34×53cm 一通 二六

〔賀茂氏起宜転沢田社禰宜宣旨〕 宝永五年後正月九日 藤原尚長
奉(宿紙) 34×53cm 一通 二七